

中を認
京依存
とも事
の大震
うな社
いとは
してき
食糧政
が具体
を提示
済循環
ること
域づく
有権者
なるた
見極め



者や有
暮らし
る。1
者の選
の選
長や
つした
だ。
待した
以前か
厳しい
本大震
心安全
アをど
有権
者には
機会を
とにな
話を聞
する努

会も減
権者が
なかつ
それぞれ
有権者
しまっ
組織代
かつて
が仕事
今ほそ
ある。
市民
意識し
を持つ
る公の
認識し

地方の意見を国に届けて／景気対策を第一に考えて／平和で住みよい町づくりを／気になるのはエネルギー問題

広島県呉市、老舗洋食店「いせ屋」経営、加納充訓さん(69)。「今の政府の対応にはもどかしさを感じる人が多い。地方の意見を国に届けてくれるような頼りがいのある政治家が出てほしい。震災の影響で、観光客は目に見えて減っている。店に来るお客さんもいつもより1割ぐらい少なく、少し不安を感じる。今は苦しくて先月の展望を示してくれば我慢はできる。これからどうすべきか、いつまで続くのか具体的に道筋を立てて住民を引っ張っていくような力強さを、当選した人は期待したい」

広島県福山市、製菓会社社長、上迫豊さん(44)。「政治には全く期待していない。利益誘導型などさまざまな人が出ているが、いま国にも自治体にも金がない。民主党もそうだが、分配の論理ではなくて、それを超えて新しいものを作り出すことを考えてほしい。しかし今の顔ぶれや現状では誰がしても意味がないのではないか。だから、政治家にへんに期待することなく、会社は会社としてやっていく。ただし、意思を伝えぬまま文句ばかり言っても仕方がないから投票には行きます。最善と思われる人がいれば1票を投じたが…」

岡山市北区、書店経営、山本浩久さん(46)。「まず、景気対策を第一に考えてほしい。岡山市内の中心部の商店街でも空き店舗が目立ち、経済の地盤沈下が激しい。長引く不況で先が見えない不安がある。観光面でも岡山は気候に恵まれ、もっと観光客らが来てほしいのに、岡山のよさが県外に十分には伝わっていないように思える。また、大きな災害が少ない岡山県の災害対策は遅れているように思える。東日本大震災を教訓に、岡山の防災面もぜひ、見直してほしい」

鳥根県出雲市、NPO法人「スサノオの風」理事長、渡部良治さん(60)。「観光資源、食文化を開発して元氣のある島根にしてみたい。出雲市は合併して6年たつが、住んでいる佐田町では歌舞伎など伝統文化への補助金もカットされ、合併前に特色あった予防医学への取り組みも悪くなった。自治体によって特色ある政策があってもおもしろかったのが、どこも同じやり方では過疎の疲弊感はぬぐえない。また、島根原発を口にする、反動的とする空気があるが、エネルギー政策など、みんなが知識を得て発言すべきときだ」

鳥取市、会社員、石塚祐二さん(29)。「政治に頼っても、景気の回復は見込めず、生活が向上することもないと感じている。あえて期待するとすれば、まさに活気を生み出すために経済対策を進め、教育や福祉など住民生活の基盤を充実させてほしい。若い

世代が地域活性化の中心となるように、雇用の確保にも取り組んでほしい。山陰道を早期に整備して、県内の交流をスムーズにすることも重要。地域や官民の垣根をなくしてアイデアを出し合い、県全体の活性化に取り組める環境をつくってほしい」

高松市、団体職員、中山文さん(45)。「襲いかかる津波、爆発で吹き飛ばされ無残な姿をみせる原発の建物：今も毎日、繰り返される生々しい映像にショックの連続だ。私の住む周辺は平成16年8月、台風16号による想定外の高潮で町は水没し、死者も出る大きな被害を受けた。今回の災害で安全という言葉のむなしさを感じているのは私だけではないと思う。近い将来予想される東南海地震や南海地震の対応も、もはや想定外ではすまされない。平和で住みよい町づくりを本気で考えてもらうことをただただ願うのみ」

松山市、デザイナー、渡部一義さん(57)。「夫婦でデザインや印刷の会社を営んでいる。今は老後のことを夫婦で話すことも多くなったが、気になるのはエネルギー問題。ただ原発に対して賛成・反対を唱えるだけでなく、原発に注意しながら代替エネルギーを模索し、将来にわたって安心できるエネルギーのビジョンを示す努力をしてほしい。これまで東京一極集中だった経済を日本全体にバランス良く行き届かせる政策を描いたうえで、地方で取り組むべき課題を見立て、チャレンジしてほしい」

徳島市、保育園職員、佐藤義忠さん(76)。「若者たちが都会に出ていき、地方では過疎化がどんどん進んで寒々としている。それをくい止めるような、徳島県民が喜んで住むような施策を、医療でも農業でも産業でも商業でも何でもいので展開してほしい。東日本大震災を受け、日本や世界の経済産業は大きな痛手を負っている。こんな現状でも徳島県はぼんやりしているように思う。何をぼんやりしているのか。もっと真剣に徳島県と日本の発展を考え、いろいろな施策の展開をしてくれることをお願いしたい」

高知市、飲食店経営、佐田豪さん(45)。「驚異的な昨年の龍馬ブームが去った今、高知県内の飲食店やホテルなどは客の減少に大きな危機感を募らせている。これからは、心を込めたもてなしが1層大切になると思う。幸い、県内には全国に誇れる新鮮な魚介類や農作物のほか、湧出する温泉が各地にある。巨額な費用はかけなくていいから、JR駅前に足湯を設けていくといった施設整備を進め、県外からもお年寄りが集まってきて、浴衣姿で散策できるように滞在型の観光施策に取り組んでほしい」